

施策分析シート（平成25年度）

No1

施策名	企業経営革新の支援	施策No	05-05	部課名	産業経済部経営支援課	
関連部課名						
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]				
	政策	活力ある地域経済づくり[05]				

目的 産業を取り巻く環境が激変する中、企業競争力・経営力の強化に向けた新製品・新技術開発や販路拡大等の取組を支援することにより、区内企業の経営革新を促進し、区内産業の活性化を図る。

指 標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)	目標値 (28年度)	
	新製品・新技術開発補助件数	9	9	9	6	10	年間件数
	産業財産権補助件数	10	6	12	9	10	年間件数
	見本市等出展補助件数	40	39	56	43	50	年間件数
	販売サイト出店数	110	104	103	110	115	店舗数
	販売サイト売上高	716	551	476	615	1222	(万円)

現状と課題（指標分析）

区内企業が企業間競争に生き残っていくためには、経営基盤の強化を図るとともに、従来の経営の枠組みにとらわれず、自社の強みを生かし、新製品開発や新事業進出等、経営革新に向けて新たな分野へ挑戦することが必要である。そのためには、企業の開発経費の負担軽減や産学連携による技術供与等の支援を行うことが必要である。

区内企業の販売促進を図るため、販路拡大に要する経費負担の軽減や製品情報を発信する場の提供等の支援が必要である。

今後の方向性

《今までの成果及び指標分析を踏まえて》

新製品開発に要する経費を補助するとともに、24年度から「新製品・新技術大賞」を創設した。これにより、新製品等の開発機運を一層高めていく。また、「MACC（荒川区モノづくりクラスター）プロジェクト」を核とする産学間交流を推進する。さらに、産業財産権取得費用の補助、関係機関との連携により、知的財産戦略を支援する。

見本市等への出展経費の補助、「販売支援サイト」の運営により、製品情報を区内外に発信し、販路拡大を支援する。

施策の分類		分類についての説明・意見等
25年度	26年度	
重点的に推進	重点的に推進	区内企業が厳しい企業間競争に勝ち抜くためには、新製品開発や新事業進出、販路拡大等、絶えず経営革新に向けて新たな分野へ挑戦することが重要であり、その取組を支援することは区内産業の活性化のため、極めて重要である。

施策分析シート（平成25年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のため の分類		分類についての説明・意見等
		23年度	24年度	25年度	26年度	
経営革新等支援事業	04-02-20	22,703	27,806	重点的に推進	重点的に推進	当該補助事業を通じて、区内企業の経営基盤の強化と経営革新が図られることが期待されることから、区内産業活性化を目指すためには極めて重要と考える。なお、経営革新計画の取得や区が実施するコンテストへの参加を促すため、見本市補助等において改善を図る。
TASKプロジェクト事業（5区合同産業活性化プロジェクト）	04-02-21	1,762	1,719	推進	推進	区を越えた企業間交流による新製品や新技術開発の端緒となる事業であり重要。
荒川区新製品・新技術大賞	04-02-22	0	2,608	推進	重点的に推進	本事業は、新製品の開発機運を醸成するだけでなく、様々な経営革新を進めていくうえで、有効であることから、今後も適切に制度設計をしながら積極的に推進していく。
企業情報化支援事業	04-02-23	4,546	4,524	推進	推進	現在、ITを活用した生産管理や販路拡大は業績向上に不可欠なものであり、ITに関連する経営知識等の提供は重要である。ITを活用した商取引等が急速に進む社会経済情勢に合わせ、よりマーケティング効果の高いITツールの活用について周知・啓発を図る。
販売支援サイト事業	04-02-24	5,061	6,015	推進	推進	経営資源が限られる区内中小事業者にとって、区営のインターネットショップの存在は貴重である。一層の販路拡大には、運営面も含め、より訴求力があるサイトへのリニューアル等を積極的に進めていく。
産業展助成	04-02-25	7,068	7,069	推進	推進	区内企業・産業を区内外に広く紹介するとともに、子ども達にモノづくりの楽しさを経験させる契機となるイベントであり、区内中小企業の販路拡大や後継者育成等の面からも重要。
合 計		41,140	49,741			